

| 項目          | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取組んで<br>きたい項目)  | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)                                       |
|-------------|--|---|---|
| . 理念に基づく運営  |  |   |   |
| 1. 理念の共有    |  |   |   |
| 1           | 地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。            | 地域密着型サービスの意義を会議等で確認し合い、事業所理念にも地域社会とのつながりを掲げている。                         |   |
| 2           | 理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。                              | 玄関やユニット内に理念を提示し、新規採用時には説明をし、申し送りや会議等でも確認をしている。                          |   |
| 3           | 家族や地域への理念の浸透<br>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。      | 玄関やユニット内に見やすく視域に入る位置に提示している。運営推進会議にて説明しているが、十分とはいえない。                   | これからも、ホームたよりに理念を解りやすく掲載し、家族様にも理解して頂けるよう取り組み、地域への浸透にも努力していきたい。       |
| 2. 地域との支えあい |  |   |   |
| 4           | 隣近所とのつきあい<br>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。      | 近所への散歩、買物へでかけている。外で洗濯物干しの際、ホーム前をと通る方々に挨拶をし、気軽に声をかけて頂けるように心がけている。        | 散歩の時に近所の人に声を掛けて頂いているが、気軽に立ち寄って貰えることは少ないので、いつでも立ち寄ることのできる環境作りに努めていく。 |
| 5           | 地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。        | 地域のお祭りや保育園の行事、町内会のゴミ拾いなど積極的に参加している。                                     |   |
| 6           | 事業者の力を活かした地域貢献<br>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。 | 現在の体制では多くのことはできなく、地域貢献への具体的な取り組みは行っていないが、見学者や近隣の方々から介護についての相談があり対応している。 | 町内会会合や運営推進会議の中で、地域の高齢者の暮らしに事業者として役に立てることがないか話し合っていきたい。              |

| 項目                    | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取組んで<br>きたい項目)   | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)                           |
|-----------------------|--|--|---|
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 |  |  |   |
| 7                     | <p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>                         | <p>評価の意義を会議にて説明し、新人スタッフには経験のあるスタッフが付き自己評価を記入している。改善点はスタッフ全員で会議にて話し合っている。</p> |   |
| 8                     | <p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている。</p>          | <p>年に3回程と回数は少ないが行なっている。その際外部評価についても話し合っている。</p>                              | <p>地域住民の方やご家族の方の参加率が低いので、積極的にアプローチし気軽に参加して頂けるよう努める。</p> |
| 9                     | <p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>                           | <p>札幌市北区管理者連絡会議に出席している。市担当職員からの連絡(FA)は迅速に職員に配布し、周知・実践できるようにしている。</p>         |   |
| 10                    | <p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> | <p>新人研修や定期的に資料の配布を行なっている。現在は対象者がいないが、必要時スムーズに活用したい。</p>                      |   |
| 11                    | <p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。</p>            | <p>虐待防止の掲示や法律資料を配布し、注意喚起を促している。</p>  |   |
| 4. 理念を実践するための体制       |  |  |   |
| 12                    | <p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>                            | <p>管理者が事前に面談し、契約の説明を丁寧懇親に行なっている。特に退去時の事情や料金の説明を行い同意を得ている。</p>                |   |

| 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取組んで<br>きたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む) |
|--|--|----------------------|-------------------------------|
| 13<br>運営に関する利用者意見の反映<br>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。                                 | 利用者や家族等が意見を話せる環境・雰囲気作りを心がけ、日々のミーティングで話合ったり、スタッフ全員が周知を出来るようにしている。             |                      |                               |
| 14<br>家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。                              | 3ヶ月に一度家族にホーム便りや個別に状況報告を行なっている。金銭管理については、毎月お小遣い帳で家族に確認・印鑑を頂いている。              |                      |                               |
| 15<br>運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。                                | 家族には来所時に問いかけ、意見・要望等何でも言ってもらえる環境作りに努めている。                                     |                      |                               |
| 16<br>運営に関する職員意見の反映<br>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。  | 日々のミーティングや月に一度会議を行い職員の提案・意見を聞いて議論し、反映させている。                                  |                      |                               |
| 17<br>柔軟な対応に向けた勤務調整<br>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。                       | 行事や病院受診などに合わせて、スタッフの人数や勤務調整に努めている。   |                      |                               |
| 18<br>職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。 | 各ユニットの職員は概ね固定しており、馴染みの管理者・職員によるケアに努めている。やむを得ない異動や離職の場合もスムーズに引継ぎが出来るよう努力している。 |                      |                               |

| 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取組んで<br>きたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む) |
|--|--|----------------------|-------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援  |  |                      |                               |
| 19<br>職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。          | 職員の質の確保・向上は不可欠であると理解し、事業所外で開催される研修には、多くの職員が受講できるようにしている。全員が観覧できるように研修報告書を作成している。 |                      |                               |
| 20<br>同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。 | 市・区の連絡会への参加や、近隣グループホームとの情報交換等行なっている。   |                      |                               |
| 21<br>職員のストレス軽減に向けた取り組み<br>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。                                   | 職員と話合える時間を多く作り、疲労・ストレスや悩みをいつでも相談できるよう努めている。明るい職場環境が作れるよう職員同士の関係にも心がけている。         |                      |                               |
| 22<br>向上心をもって働き続けるための取り組み<br>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。                       | 職員の業務や適性を把握できるように努めている。資格を活かせる労働環境作りや、資格取得に向けた支援をしている。                           |                      |                               |
| . 安心と信頼に向けた関係づくりと支援  |  |                      |                               |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応  |  |                      |                               |
| 23<br>初期に築く本人との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。            | 入居以前に必ず、管理者や職員が本人・家族と面談を行い、困っている事・不安な事を傾聴し受け止めるよう努力している。                         |                      |                               |
| 24<br>初期に築く家族との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。                 | ご家族様からこれまでの経緯や、サービス利用初期時の対応など何回も話し合いを受け、ひとつずつ、ケアへの反映に努めている。                      |                      |                               |

| 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む) |
|--|---|-------------------|-------------------------------|
| 25<br>初期対応の見極めと支援<br>相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。                              | 早急な対応が必要な相談については、他事業所を紹介したり、他サービスや制度等紹介をおこなっている。                        |                   |                               |
| 26<br>馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。 | 馴染めるまで、面談に行った職員がそばについたり、家族と相談し、慣れるまで一緒に過ごして頂くなど、ご本人に安堵感を抱いて頂けるよう工夫している。 |                   |                               |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援  |   |                   |                               |
| 27<br>本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。                       | 本人の意思を尊重し、介護される立場におかず出来ることはして頂く。本人なりの知恵・意思を確認し、支えあう関係を築いている。            |                   |                               |
| 28<br>本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。                                 | 家族の方へは、本人の日常生活の様子を伝え家族と一緒に本人を支えていく方法を見出す様な対人援助を行っている。                   |                   |                               |
| 29<br>本人と家族のよりよい関係に向けた支援<br>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。                                     | 職員一同が各家族関係や事情を把握し、本人と家族との調整役が出来るように担当職員を決め対応している。                       |                   |                               |
| 30<br>馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。                                       | 本人の希望を聞き支援している。外出行事に合わせて馴染みのあった場所や人との触れ合いに努めている。                        |                   |                               |

| 項目                             |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                      | 印<br>(取組んで<br>きたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む) |
|--------------------------------|---|--|----------------------|-------------------------------|
| 31                             | 利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。   | 利用者同士の関係を把握し、レクリエーションや外出を通して、利用者同士の関わりが持てるようにしている。                   |                      |                               |
| 32                             | 関係を断ち切らない取り組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。                                    | 今、現在は契約終了者はいないが、終了しても継続的に関わりを必要とする利用者、家族の方へは連絡を取り合える関係が出来る様に支援したい。   |                      |                               |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント       |   |  |                      |                               |
| 1. 一人ひとりの把握                    |   |  |                      |                               |
| 33                             | 思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。  | 一人ひとりの生活歴、家族状況を聞きながら、思いや意向を確認している。意思疎通が困難な方には、家族より聞き取りを行っている。        |                      |                               |
| 34                             | これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。  | 一人ひとりの生活歴、家族状況を聞きながら、今の心身状態と照らし合わせてサービス支援の把握に努めている。                  |                      |                               |
| 35                             | 暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。  | 一人ひとりの生活パターンを大切に、個々のリズムがくずれないように支援している。申し送り時、日々の状況の変化等を把握し配慮に心がけている。 |                      |                               |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し |   |  |                      |                               |
| 36                             | チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。 | 本人や家族と話し合い、意思や関係者のアイデアを元に、本人にとって一番良いと思われる介護計画の作成に努めている。              |                      |                               |

| 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取組んで<br>きたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む) |
|---|--|----------------------|-------------------------------|
| <p>37 現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。</p> | <p>変化が生じた場合は、その時々勤務者間で話し合い見直しをしている。本人、家族へ状況を報告し、介護計画を作成している。</p>           |                      |                               |
| <p>38 個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>   | <p>日々の様子をケース記録・日誌等に記入し、申し送りで職員同士の情報を共有し、サービス支援方法にズレがないように実践している。</p>       |                      |                               |
| <p>3 多機能性を活かした柔軟な支援</p>   |  |                      |                               |
| <p>39 事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。</p>   | <p>本人、家族の要望に出来ることは応じて、緊急な受診・送迎等を行っている。</p>                                 |                      |                               |
| <p>4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</p>   |  |                      |                               |
| <p>40 地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。</p>  | <p>ボランティアの来訪により余暇活動を楽しんだり、消防の避難訓練、救命救急の講習を受けている。</p>                       |                      |                               |
| <p>41 他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。</p>  | <p>不定期ではあるが、運営推進会議を開催し、他ケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための手続きを行っている。</p> |                      |                               |

| 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                       | 印<br>(取組んで<br>きたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む) |
|--|---|----------------------|-------------------------------|
| <p>42 地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。</p>                           | <p>運営推進会議に出席して頂いている。</p>  |                      |                               |
| <p>43 かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>                           | <p>本人、家族から希望を聞き、かかりつけ医・往診医を選択して頂き、適切な医療が受けられる様支援している。</p>             |                      |                               |
| <p>44 認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>                         | <p>定期的に受診を行い、スタッフが同行して医師と相談をしている。適切な治療が受けられる様に支援している。</p>             |                      |                               |
| <p>45 看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>   | <p>週に一度、担当看護師に訪問してもらい、一人ひとりの日常の健康管理を相談し、変化があった時はその都度、連絡を取り支援している。</p> |                      |                               |
| <p>46 早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p> | <p>利用者が入院中には、定期的に面会に行き、利用者が安心出来る様に対応している。早期退院に向けて病院関係者と相談している。</p>    |                      |                               |



| 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取組んで<br>きたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む) |
|---|---|----------------------|-------------------------------|
| 47<br>重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。                                   | 「重度化した場合の対応指針」や「終末期の要望書」等にて、本人・家族と話し合っていますが、現段階ではその該当者がいなく、確実な方針が決まっていない。 |                      |                               |
| 48<br>重度化や終末期に向けたチームでの支援<br>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。 | 本人や家族の意向を考慮し、事業所としてできる事を検討・見極め、必要時は主治医や看護師と連携していきたい。                      |                      |                               |
| 49<br>住替え時の協働によるダメージの防止<br>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。                        | 事前に本人や家族・ケア関係者の中で連絡を取り合い、本人が混乱したり、不安にならないように情報交換を行っている。                   |                      |                               |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援<br>1. その人らしい暮らしの支援<br>(1) 一人ひとりの尊重  |   |                      |                               |
| 50<br>プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。   | 一人ひとりの自尊心や意思を傷つけないように言葉かけや対応に注意をし、個人情報スタックルームに保管している。                     |                      |                               |
| 51<br>利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。  | 利用者の話しや希望を聞き、一人ひとりに合わせた説明を行いながら、支援をしている。                                  |                      |                               |

| 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取組んで<br>きたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む) |
|--|--|----------------------|-------------------------------|
| 52<br>日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。     | 利用者の希望を把握し、一人ひとりのペースに合わせた一日が過ごせる様に支援している。出前や外食時は好きな物を選んで頂いている。                         |                      |                               |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援  |  |                      |                               |
| 53<br>身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。                | 希望に添って訪問理美容にてカット等を行って頂いている。外出の際はおしゃれをしたり、お化粧品等の支援を行っている。                               |                      |                               |
| 54<br>食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。 | 行事の際など、各々の好みの食事に変更したり、季節を感じる食事に変更している。下膳等の後片付けを一緒に行っている。                               |                      |                               |
| 55<br>本人の嗜好の支援<br>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。                | 本人の望む嗜好品、おやつなど、病気を配慮した上で、楽しんで頂けるよう支援を行っている。  |                      |                               |
| 56<br>気持ちよい排泄の支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。            | 一人ひとりに合わせ、トイレ誘導を行ったり、居室内にポータブルトイレを設置するなど、気持ちよく排泄できるよう支援している。                           |                      |                               |
| 57<br>入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。        | 週に2回の入浴日を決めているが、状態を見ながら希望に合わせ、入浴の支援をしている   |                      |                               |
| 58<br>安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。                         | 個々の体調や過ごし方を考慮した上で、休息の声かけや誘導を行っている。安眠が出来るよう日中に散歩や体操をしているが、寝付かれない方には、側で話しをしながら安心感を促している。 |                      |                               |

| 項目                           | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取組んで<br>きたい項目)   | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む) |
|------------------------------|---|--|-------------------------------|
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |   |  |                               |
| 59                           | <p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。</p>  | 一人ひとり出来る力を活かし、役割を持って頂くことで張り合いを持てるようにしている。外出・外食先の相談も利用者と一緒にやっている。     |                               |
| 60                           | <p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>  | 家族希望で小口としてホームでお預かりしているが、必要時に使用でき、職員同行での買物へ行く支援を行っている。                |                               |
| 61                           | <p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。</p>                     | その日の天候や体調を考慮し、お散歩や外出をしている。希望があれば個々の外出支援も行っている。                       |                               |
| 62                           | <p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。</p> | 本人希望でお墓参りや、季節に合わせたレクリエーションを計画し、外出機会を作っている。                           |                               |
| 63                           | <p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>                           | 家族等に連絡したいとの申し出があった時は、電話をお貸ししたり、利用者への電話は本人の確認を取ってから居室でゆっくりとお話して頂いている。 |                               |
| 64                           | <p>家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>            | いつ来訪されても良い状況になっており、居室やフロアでもゆっくりと過ごして頂けるよう配慮している。                     |                               |

| 項目              | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取組んでいる項目)  | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)             |
|-----------------|--|--|---|
| (4) 安心と安全を支える支援 |  |  |   |
| 65              | <p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p> | <p>研修に出席したり、ユニット会議等で話し合いスタッフ全員が周知しケアを行っている。</p>                                  |   |
| 66              | <p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄間に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。</p>                  | <p>日中は施錠をせずに見守りや所在をスタッフ間で確認し合い、施錠をすることなく過ごせるようになって来ている。</p>                      | <p>これからも、見守り・所在確認を怠ることのないよう努めていく。</p>     |
| 67              | <p>利用者の安全確認</p> <p>職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。</p>                             | <p>日中、利用者の様子や行動を見守りながら作業を行い、夜間は巡回を行い安全に配慮している。</p>                               |   |
| 68              | <p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。</p>                     | <p>危険と思われる刃物や洗剤等は鍵の掛けれる所で保管・管理し注意をはらっている。徘徊される方がいるので共用部の整理整頓をし、見守りで危険を防いでいる。</p> |   |
| 69              | <p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。</p>                   | <p>事故防止のためマニュアルを閲覧したり、一人ひとりの利用者の様子を把握し、事故につながらないように防止策を話し合っている。</p>              |   |
| 70              | <p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。</p>                            | <p>応急手当のマニュアルを備え、対応できる場所に設置している。消防署と連携をとり講習を受け、対応できるように備えている。</p>                | <p>新しい職員や参加出来なかった職員もいるので、会議等で伝えて行きたい。</p> |

| 項目                         |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取組んで<br>きたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む) |
|----------------------------|---|--|----------------------|-------------------------------|
| 71                         | 災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。  | 消防署立ち会いのもと、避難訓練や消火訓練を行っている。災害時地域の方々にも協力をお願い出来るよう働きかけている。                       |                      |                               |
| 72                         | リスク対応に関する家族との話し合い<br>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。 | 家族面会時に最近の状況などを伝え、起こり得るリスクを事前に説明し理解を得ている。アクシデントが起きた際は、家族に報告し、スタッフ間で対応策を話し合っている。 |                      |                               |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |   |  |                      |                               |
| 73                         | 体調変化の早期発見と対応<br>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。          | 体調の変化・異変時には、主治医、又は看護師に連絡し、指示をいただき、急変時は速やかに病院へ受診できるように対応している。                   |                      |                               |
| 74                         | 服薬支援<br>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。      | 注意事項を掲示している。本人が服薬出来たことをサインで確認するようにしている。内服準備に関しても工夫し、重複防止に努めている。                |                      |                               |
| 75                         | 便秘の予防と対応<br>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。         | リズムパターンシートにて排便状況を把握し、便秘を予防するため、水分補給や運動、飲食物の工夫を行っている。                           |                      |                               |
| 76                         | 口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。                  | 起床時と就寝前には口腔ケアを行い、必要に応じて仕上げ介助をしている。月・木曜日はポリドント洗浄を行い、衛生を保てるよう支援している。             |                      |                               |

| 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取組んで<br>きたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)                                |
|--|---|----------------------|--|
| 77 栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。                                   | 栄養士の作成した献立を基本とし食欲が増すよう、味付けや盛り付けにも工夫をこらしている。水分等は好みの物で摂取できるように対応している。         |                      |  |
| 78 感染症予防<br>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)  | マニュアルを作成している。利用者、職員全員がインフルエンザの予防接種を受けている。食事前等にも全員が手洗い消毒を行い対応している。           |                      |  |
| 79 食材の管理<br>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。  | 清潔を保つため、台所・調理用具等の消毒を欠かさずに行っている。毎日届けられる食材は、鮮度を保つため残さないように使い切っている。            |                      |  |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり<br>(1)居心地のよい環境づくり  |   |                      |  |
| 80 安心して出入りできる玄関まわりの工夫<br>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。                              | 安心して出入りが出来るようにスロープやエレベーターが設置されている。玄関先にはお花が楽しめるようにプランターを設けている。               |                      | 建物のまわりなどにプランターを増やすなど行っているが、親しみやすい雰囲気までにはいたってないのでこれからも努力していく。 |
| 81 居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | ホール、玄関の飾りを月毎に利用者と共に作り飾っている。玄関・階段等にも花を飾り、季節感を味わうことが出来るように工夫している。             |                      |  |
| 82 共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。                              | 共有空間の中では一人になれる場所はないが、リビング・食堂が隣り合っているため思い思いに過ごすことができ、利用者同士が会話を楽しめる環境作りをしている。 |                      | リビング窓の側に小さなテーブルを置くなど会議等で話しをすすめているところで近いうちには設置して行きたい。         |

| 項目                      |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む) |
|-------------------------|---|---|-------------------|-------------------------------|
| 83                      | 居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 日頃、使い慣れた家具や物等を置かれている。本人の希望に合わせて使い易いように配置し、居心地よく過ごすことが出来るように支援している。                  |                   |                               |
| 84                      | 換気・空調の配慮<br>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。       | 利用者の体調をみながら過ごしやすい温度や湿度調整を行っている。   |                   |                               |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり |   |   |                   |                               |
| 85                      | 身体機能を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。                 | 一人ひとりの身体機能に合わせ、維持できるように手摺を設置し、廊下も広く考慮されていて、居室内でも自立されるよう家具の配置等を配慮し、安全に生活出来るよう工夫している。 |                   |                               |
| 86                      | わかる力を活かした環境づくり<br>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。                           | 一人ひとりの出来ることで役割を持ち、毎日の生活に張りを持っていただくよう支援している。居室やトイレに表札、目印をつけ分かりやすい様に工夫している。           |                   |                               |
| 87                      | 建物の外回りや空間の活用<br>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。                                   | 玄関先にプランターを設置し、利用者と一緒に花を植えたり、水まきをしている。お天気の良い日には洗濯物を一緒に干したり、レクリエーションを楽しんでいる。          |                   |                               |

| . サービスの成果に関する項目 |   |
|-----------------|---|
| 項目              | 取り組みの成果   |
| 88              | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br><input type="radio"/> ほぼ全ての利用者<br>利用者の2 / 3くらい<br>利用者の1 / 3くらい<br>ほとんど掴んでいない                   |
| 89              | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br><input type="radio"/> 毎日ある<br>数日に1回程度ある<br>たまにある<br>ほとんどない  |
| 90              | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br><input type="radio"/> ほぼ全ての利用者<br>利用者の2 / 3くらい<br>利用者の1 / 3くらい<br>ほとんどいない                            |
| 91              | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている<br><input type="radio"/> ほぼ全ての利用者<br>利用者の2 / 3くらい<br>利用者の1 / 3くらい<br>ほとんどいない                 |
| 92              | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br><input type="radio"/> ほぼ全ての利用者<br>利用者の2 / 3くらい<br>利用者の1 / 3くらい<br>ほとんどいない                           |
| 93              | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br><input type="radio"/> ほぼ全ての利用者<br>利用者の2 / 3くらい<br>利用者の1 / 3くらい<br>ほとんどいない                     |
| 94              | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br><input type="radio"/> ほぼ全ての利用者<br>利用者の2 / 3くらい<br>利用者の1 / 3くらい<br>ほとんどいない            |
| 95              | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています<br><input type="radio"/> ほぼ全ての家族<br>家族の2 / 3くらい<br>家族の1 / 3くらい<br>ほとんどできていない |



| . サービスの成果に関する項目 |   |
|-----------------|---|
| 項目              | 取り組みの成果   |
| 96              | <p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている</p> <p><input type="radio"/> ほぼ毎日のように<br/>数日に1回程度<br/>たまに<br/>ほとんどない</p>                                |
| 97              | <p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p><input type="radio"/> 大いに増えている<br/>少しずつ増えている<br/>あまり増えていない<br/>全くいない</p> |
| 98              | <p>職員は、生き生きと働いている</p> <p><input type="radio"/> ほぼ全ての職員が<br/>職員の2/3くらいが<br/>職員の1/3くらいが<br/>ほとんどいない</p>                                       |
| 99              | <p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p><input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が<br/>利用者の2/3くらいが<br/>利用者の1/3くらいが<br/>ほとんどいない</p>                     |
| 100             | <p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p><input type="radio"/> ほぼ全ての家族等が<br/>家族等の2/3くらいが<br/>家族等の1/3くらいが<br/>ほとんどいない</p>                 |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

ご利用者様の安全・安心・笑顔を大切に、一人ひとりの出来ることを行っていく事で、職員と共に生活を作り上げているという「生きがい」を感じて頂けるケアサービスを目指しています。ご利用者を尊重しコミュニケーションを大切にしながら接し、外出先や外食をご利用の方々と考え楽しんだり、毎日体操でからだを動かしたり、ご利用者様の大好きな歌を唄うことで、スタッフもご利用者様と一緒に楽しみ、笑いの絶えない生活を創り上げていきたいと思っています。